

補助金等支出明細書

法人名 (公社) 日本植物学会

1. 補助金等の名称 平成24年度科学研究費補助金

「研究成果公開促進費研究成果公开发表 (B)」

日本植物学会第76回(姫路)大会 公開シンポジウム

「兵庫の植物、その多様性と成り立ち」

2. 事業の目的及び内容

(1) 目的

兵庫県は、全国12位の広い面積を擁し、冷温帯林から暖温帯林を包含するため、日本の植生を概観・理解する上で重要な単位となる。しかも、生育地が限られた特筆すべき植物も存在する。折しも、地球温暖化が現実の問題となっている。そのため、地球温暖化抑制にとって重要な植物のまとまりである植生の温暖化による変化を解明し、公開することが重要である。兵庫県には良質な植物化石の産出する地層があり、最終氷期から温暖化の過程での植生の変遷を植物化石により追求し、将来の温暖化による植生変化を予想するにも絶好の土地柄である。姫路市や周辺地域は地道な生物多様性保全活動が続けられている土地でもあり、地球の将来にとっても重要な課題を分かり易く解説する公開講座を開催する。

(2) 講演会の概要

兵庫の植物相を考える上で、現在の植物だけでなく、最終氷期の2万年前以降、あるいはもっと以前からの化石などの証拠をもとに、兵庫から近畿付近でどのような植物相の変遷が起こって、今に至っているかを考察することを狙った。そのために、現在の兵庫の植物相を俯瞰して、日本の中での兵庫の特徴を浮き彫りにした。そして、兵庫に特徴的な植物に焦点を当て、兵庫の居住者さえもほとんど知らない植物の興味深い生態について解説を行った。その上で、このような現在の植物相が成立してきた過程を、兵庫において発掘された数々の化石により、実証的に(科学的に)解説した。聴衆の深い理解を助けるために、話題となる植物の写真やスケッチを挿入した解説冊子を用意した。また、配付冊子には、話題に上る植物の化石や出土地の写真も盛り込み、植物化石の研究にも精通してもらおうことを狙った。また、兵庫に分布する植物への理解を深めってもらうために、写真集「兵庫の植物」も配付した。この内容を、以下の演者

による講演により行った。

1. 福岡誠行（兵庫県立大学） 兵庫の植物、そのおもしろい分布
2. 高野温子（兵庫県立人と自然の博物館） オチフジの不思議な生活と分布
3. 布施静香（兵庫県立人と自然の博物館） ショウジョウバカマ属の分類—六甲山で見られる奇妙な個体の正体は？
4. 半田久美子（兵庫県立人と自然の博物館） 昔々の兵庫の植物—化石からわかること
5. 高橋 晃（兵庫県立大学） 兵庫の植物、1万年前と今

事前に「朝日新聞」の地方版に掲載されたことなども相まって、当日は、200名収容のホールに多数の補助椅子を用意しないとイケないほどの聴衆で溢れた。講演内容もたいへん好評で、後日、良い講演会だったとの声も寄せられた。さらに、地域の土地開発関係者の聴講も有り、開発に際しての環境保全や種の保全についての認識の向上に役立ったとのことである。また解説冊子、写真集ともに好評で、知人のために複数を欲しいとの参加者もあり、用意したすべてがはけた。聴講に来ることができなかつた方々から手に入れたいの問い合わせが多々あった。

3. 交付先の公益法人の名称	(公社) 日本植物学会
4. 交付実績額	1,100,000 円
5. 補助金等における管理費	
(1) 会場借料	21,600 円
(2) 消耗品費	74,622 円
(3) 人件費・謝金	65,500 円
(4) その他	938,278 円
	合計 1,100,000 円

6. 外部への支出

(1) 外部に再補助・再委託されているものに関する支出

支出内容	支出先	金額
	合計	0 千円 (B)

(2) (1) 以外の支出

支出内容	支出先	金額
	合計	0 千円

7. その他	内容	0 千円
	合計	0 千円
8. 再補助・再委託等の割合		0%(B/A)